

カトリーヌ マッソー

ベルギー

ICT 講師

**①新型コロナウイルス感染拡大前後で生活はどのように変化しましたか。**

私は ICT 講師をしていて、様々な会社へ足を運び、そこで働く従業員向けに講習を行っていました。両親や、友達、同僚とも頻繁に会ったりもしていました。また山登りや、スポーツジムにもよく行っていました。今もまだ ICT 講師ではあるのですが、今はデジタルコーチングの仕事をしています。1つの会社の中で、その会社のプログラムがどのように動作しているのかの理解であったり、文書やパソコンの機能的な問題に対する解決策を提案したり、といった従業員へのサポートをしています。また、在宅での仕事も増え、オンラインでできることをもっと増やそうと思っています。というわけで、今は以前のようにあちこち移動することがなくなりました。

**②コロナ禍で気づいたことや学んだことはなんですか。**

そうですね、（私たちは技術職なので）一日中家にいて時々仕事をすればよかったので、初めのころは楽だと思っていたのですが、少し経ってからお客さんからの依頼で朝から晩まで仕事をするようになった時、かなり仕事がやりにくくなってきました。一日中家にいたので職場の同僚や友達、家族が恋しく思う気持ちも出てきました。さらに、音声や動画を通していてもコミュニケーションがこんなに難しいものなのかということにも気づきました。私たちはあまりにも人間関係から切り離されすぎてしまっていたのです。

**④今現在（2022年12月）のベルギーでの生活はどうですか。**

ほとんどがコロナ前に戻ってきています。ですが2年もの間、ある意味防護し続けていたのので、人々は病気にかかりやすくなりました。さらに、もうみんなマスクを着けていません、今後も、例え具合が悪くても。

**⑥姫路のみなさんへのメッセージ**

日本への入国が再開したと聞いたときは嬉しすぎて飛びあがりそうでした。すぐ伺いますので待っていてくださいね!!!!